

平成28年度 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会議事録

1 日時

平成28年7月25日（月）午後2時00分～午後4時10分

2 場所

美祢市役所3階 委員会室

3 次第

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議事

ア 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況について

(ア) 重要戦略進捗状況

(イ) 重要業績評価指標の達成状況（平成27年度末実績）

(ウ) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）

重要業績評価指標の達成状況（平成27年度末実績）

イ 平成28年度の取り組みについて

(4) その他

(5) 閉会

4 配付資料

(1) 平成28年度美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会会議次第

(2) 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員名簿・配席図

(3) 資料① 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(4) 資料② 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要戦略進捗状況

(5) 資料③ 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標

(K P I) の達成状況（平成27年度末実績）

(6) 資料④ 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）

重要業績評価指標（K P I）の達成状況（平成27年度末実績）

(7) 資料⑤ 平成28年度の取組

(8) 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(9) 美祢市生涯活躍のまち構想

(10) 平成28年7月24日（日）山口新聞「地方創生推進交付金」記事の切り抜き

(11) 「ARであきよしはどうだい！！」チラシの写し

5 出席者名簿

◎は会長、○は副会長

区 分		氏 名	出欠席
委 員	美祢市議会議員	◎ 竹岡 昌治	出席
	美祢市議会議員	岡山 隆	出席
	公募委員	田原 義寛	欠席
	公募委員	堀田 勝利	欠席
	カルスト森林組合 代表理事組合長	○ 大呑 俊彦	出席
	J A山口美祢 代表理事専務	山本 善継	出席
	美祢市商工会	齊藤秀一郎	出席
	美祢市観光協会 事務局長	佐々木秀介	出席
	山口県宇部県民局 局長	中村 孝史	出席
	山口県立美祢青嶺高等学校 校長	古谷 修一	出席
	山口銀行美祢支店 支店長	田中 泰治	出席
	連合山口中部地域協議会 美祢地区会議 事務局長	永井 政夫	出席
	山口新聞美祢支局 支局長	平岩 和也	欠席
	美祢市地域組織活動連絡協議会 (母親クラブ)	田中よし子	欠席
	美祢青年会議所 専務理事	内海 満夫	出席
事 務 局	総合政策部長	藤澤 和昭	出席
	総合政策部企画政策課 課長	佐々木昭治	出席
	総合政策部企画政策課 課長補佐	岩崎 敏行	出席
	総合政策部企画政策課 主事	西山 洋史	出席

6 議事録

(1) 開会

(事務局から開会の宣言が行われた。)

(2) 会長挨拶

竹岡会長 昨年10月26日に副会長とともに市長に答申を行ってから、約9箇月が経過し、年度が替わり、市長も代わった。しかしながら市長はこのまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏襲していこうという考えです。後期基本計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、生涯活躍のまち構想を踏襲していこうという考えです。皆様には、平成27年度の事業検証と平成28年度の取組について後程説明があろうかと思いますが、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

(3) 議事

(事務局から資料の確認と、新たに就任された委員の紹介、並びに会議の成立について説明が行われた。)

ア 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について

資料① 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

資料② 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要戦略進捗状況

資料③ 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標

(K P I) の達成状況 (平成27年度末実績)

について、事務局から説明が行われた。

竹岡会長 皆様にご提案ですが、平成27年度の事業について説明を受けましたが、引き続いて28年度の取組についても併せて説明を受けて総合的に審議していきたいと考えますが、いかがでしょうか。

(全員異議なし)

それでは、28年度の説明を受け、総合的に議論していきたいと思えます。

資料④ 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 (地方創生先行型)

重要業績評価指標 (K P I) の達成状況 (平成27年度末実績)

資料⑤ 平成28年度の取組

について、事務局から説明が行われた。

午後3時00分休憩

午後3時09分再開

意見交換・質疑

竹岡会長 ARがどういう仕組みになっているかご存知でしょうか。今、秋芳洞に入るところでかざしたら何が出てきますか。龍が出てきて案内してくれる。美祢市も進んでやっているんですが、将来的には次の観光地を案内してくれるということで観光客を増やしていくことを考えています。

少し気になったのがDMOで、お隣の萩市の動向がわかるでしょうか。

事務局 単独の市としては、確かに萩市の方が先行しています。私共のところは、美祢市と山口市と宇部市で連携してDMOを進めています。また、本市では、主体となるのが観光協会と思われかもしれませんが、今後市として単独で経営組織を構築できるように検討を進められているとお聞きしています。

岡山委員 丸和の跡地購入の議案が出ていますが、今後「美祢市まち・ひと・しごと総合戦略」の中にちゃんと盛り込んでいくことが重要である。そこにどういったものを持ってくるかは、今後知恵を出していただいて、美祢市が元気になるチャンスですので、補助金を投入しながら、いろいろな事業者が入ってきやすい形に、特区づくりをしっかりとする必要があるのではないかと思えます。

事務局 新たなコンテンツという表現をしましたARにつきまして、担当課から資料をもらいましたので、少しご理解をいただけるのではないかと思います。（「ARであきよしはどうだい！！」チラシの写しを配付）

それから、ただ今岡山委員様からご発言のありました件、他の委員さんに概要を説明させていただきます。美祢駅の近くの丸和の店舗が廃業になりまして、その跡地の活用の問題が出てきました。所有者との協議の中で土地の先買い制度に則って先般所有者の方から用地の買取希望が市にないかという申し出が出たところです。それに対応しまして、この金曜日に開催します美祢市議会において本市としましては用地の先行取得の予算補正を提案させていただいているところであります。従いまして、本会議におきましては総合的な見地で皆様方からご意見をいただきながら、用地と施設について目的や用途、使用、予算、事業の運営方式等についてご意見をいただきながらまとめていけるのではないかと考えています。

竹岡会長 議会も今勉強会をしています。「生涯活躍」と「まち・ひと・しごと」で、あそこをどのように使ったら良いかと、開始したばかりで、結論は出ておりません。隣が駐車場で使い勝手が良いのではないかと、街を厚くするのにもちょうどいいのではないかと。特区についても議会で議論していますが、吉則商店街に空き店舗が多いので、ここを先ず特区にして、子供達が遊んでいるエリアを含めて、どうやって生涯活躍の受け

皿を作るのかということも含めて検討しています。ぜひ、皆さん方からアイデアをいただきたいな思っています。幸いにして先程お配りしたように国はソフト事業に金を手当てしていたけど、結果としてハードにも出さないと地方は活性化できないのではないかと考え方が変わってきましたので、ちょうどいいチャンスだと、どうぞ忌憚のないご意見をいただきたいなと思います。

例えば、観光施設の交流人口が134万人とのことですが、目標値を上げたらというようなご意見をいただけたらと思います。また、道の駅等の特産品販売額については、既に6月議会で三セクは決算報告をしているし、美東も施設管理者から報告は上がっているのではないですか。次回はぜひお示しをいただきたいなと思います。

岡山委員 美祢社会復帰促進センターについて、最近の犯罪者数の減少により、やがてセンター生も少なくなつて700人を切るのではないかと考えられるが、センター生が社会復帰できるように、センター生と美祢市の持っている物を融合させながら地域の活性化につながるように、両方がウインウインになるような施策が、もっと入り込んでいくことが重要。他所はできないし、力強いまちづくりをする、雇用を生み出す、知恵を一緒に出していきたいと思つています。

事務局 総合戦略の重要戦略の一つとして、美祢社会復帰促進センターの存在価値を上げる旗を挙げております。今年度に入りまして法務省に参り、地域共生への取組として加速するために法務省に依頼しましたし、センター生と地域住民との共生を実現するために、法務省、SPC、地域住民の協議会を2月に1回開催して、意見交換をしております。その中で出てきたアイデアが、美祢社会復帰促進センターを立地して丁度10年目を迎えます。20年契約の丁度折り返し地点に来ていますので、後半の10年に向けて施策を出していこうということで一致していますので、皆様のご意見をいただければと思つています。

岡山委員 後からできた島根県の方では、地域とのコラボでセンター生の社会復帰につながる事業があると聞いていますが、事務局としてその辺についてわかつておられますか。

事務局 島根あさひにおかれましては、本市よりも後に立地しておりますので、地域共生がより一層進められたうえでSPCと国の契約が作られております。私共の場合は第1号ということでリスク管理に重きが置かれており、国とSPCの契約、協定の中で制約があります。国においても地域共生を一丁目一番地と掲げておりますので、今後制度改正を含めていろいろとテーブルに上げていきたいとおっしゃっています。法務省のモデルとなるように美祢市としても協力して、より一層地域共生が進むように努めてまいりたいと考えております。

竹岡会長 今、美祢の場合は、外に出られるんですか、作業で。

事務局 原則は難しいです。ただ刑務作業の一部として出ておりますけれども、これについては豊田前地区の環境整備を地域貢献作業にできないかということで議論に挙がっています。現在は磨崖仏の作業を刑務作業として出ているのに限られています、今後は地域のいろいろな環境整備に出ていきたいと協議しております。

竹岡会長 例えば、今の立地している刑務所の北側に市の土地がかなりあると思うのですが、そこを何らかの形で作業するようなところを作ったら、出てやれるのかどうか、発想が変わってくるのではないかと。

事務局 旧工場用地として整備されていた用地ですけれども、この活用についても、法務省が行うのは難しいところがございますので、SPC事業者あるいは美祢市の地元、更には美祢市が関連する事業者が整備・運用するという可能性もありますが、残念ながら具体的な話までは至っていません。アイデアとしてはテーブルに挙がっております。

岡山委員 特徴があるものを栽培して、六次産業で製品を作っていただきたい。

事務局 島根の方も実際地元の方が引き受けてらっしゃいますし、農作業をされています。そういったことを参考にしながら、私共の場合で言いますと、会長が言われた場所も、法務省側もコントロールしやすいという認識は持っております。

ただし、立地した頃は、法務省の政策として、中間施設という考えがあつて、外に出すところを法務省側が作っておったわけですが、最近所期の目標ほど効果が上がっていないということで、そこには取り組まない状況です。従いまして、事業実施主体についても、法務省が作るというのは考えにくい状況になっておるので、地元がそれらを受けるか、あるいは企業の事業者様をお迎えして、そこで実施に向けていくことを考えています。

竹岡会長 市長はこないだ一般質問した時に、今年度は予算が組まれていますからこのままやります。しかし、撤退をベースに考えます、なんですね。私も台湾行って見たんですが、野柳に行った時にびっくりしたのは、パンフレットの裏側に秋吉台の宣伝が入っていたんです。契約して、中国人や外国人観光客に配っているんです。私は外国人観光客の大きな入口になると思っているんですが、意見がちょっと合わないんです。参考までにご意見をお聞かせ願いたい。

佐々木委員 外国人観光客については重要だと認識しています。前年に比べて今年は団体のバスの受け入れが少ない状況です。インバウンドは増えているのかなという形ですが、国内団体は少なく、個人客にシフトしているのかなという認識です。その中で外国人が多く来られていること

は、外国人のニーズはしっかりあるのかなと捉えることが正しいのかなということで、しっかりとセールスをしたり情報発信を行うことで成果に結びつきやすいのかなという印象を持っています。セールや情報発信を誰がやるのかは別の話ですが、インバウンドについては、まちづくりの位置付けとして取り組むことが美祢市にとっても必要だと思いますし、県の外国人誘致だとか、韓国の直行便の流れもできてきていると思います。

齊藤委員 4月5月が減っているのは仕方ないというところがあって、4月の中頃の熊本地震の発生で、秋吉台・秋吉台はこのまま九州に流れるのが多かったのではないかということです。外国人観光客数の増加については山口県の外国人観光客数にもちゃんと出ております。山口県の外国人観光客数は全国の都道府県においてもかなり下の方らしくて、まだまだ受入体制が整っていない中で、小さい話ですが、外国の方の予約が増えています、アジアの方ですけれども。今はゴールデンルート、東京、京都、大阪の辺りに集中しておりますが、何回も来られる方は地方に目を向けてこられるのがこれからかなと思いますので、折角作った友好を、むぎむぎ止めてしまうのはすごくもったいないとは私は思います。

竹岡会長 突然振って申し訳ないけれども、吉則商店街の活性化について何かあれば、内海さんは入口においてやけ。例えば、駅前からの歩道が広いでしょ。あれ、両サイド半分にしたら、すごく道が広くなります。そして斜め駐車できるようにしようと思ったら、半分の人が反対だった、自分の店の前に人が止めるということで。人が止めてくれないと商売にならないはずなのに。また、今典礼会館があるところを実は買いたかったんですが、手遅れだった。何を考えているかと言うと、駅前の道をそのまま遊具の方に持っていきたい。そして街が作れる。これは生涯活躍の方になるかと思うんですが、小さなお店を並べたい、新しい街を作ろうじゃないか、ところがそういう立地が無くなったので、今度は逆に物産館を造るのか、あるいはジオの拠点施設を造るのか、できれば吉則を特区にして、空き家を貸す時に家賃補助をすとか、まちづくりについて検討していますが、思いがあれば。

内海委員 確かに吉則商店街の方は空き店舗が多い状況ではありまして、六次もそうですが、いろいろな店舗に入っていただかないと始まらないと思いますので、食品にしる物産にしる、何かできればいいのかなと思います。

竹岡委員 「まち・ひと・しごと」と「生涯活躍」がちゃんぽんになっていますが、もともとこっから平成28年度の「生涯活躍」をやっていますから、議論していただき、今度「生涯活躍」の方に反映していきたいと思います。

内海委員 先程、会長が野柳の方に行かれたということでしたが、公園が整備されていたと思うんですけども、美祢市の秋吉台も整備できないのかなというのが僕の中にあつたんですよ。今まであるのに来てくださいではなくて、何か手を加えてではないですが、そういうことができないのかなと。実際野柳に行った時も歩きやすかったのも、どうなのかと思います。

竹岡会長 秋芳洞の商店街、結構距離がありますよね。説明書きがあつて、いつのまにか来たというようなことをすれば、滞留時間が長くなると思います。

事務局 ただ今のご指摘大変参考になります。秋吉台・秋芳洞につきましては、これまで財政問題が足かせとなってきました。しかしながら、皆様方のご協力の下完全にクリアすることができました。これからが攻めの時だと思いますので、秋吉洞商店街の皆様と共に、あるいは美祢市民の皆様方と共に秋吉台・秋芳洞の環境整備、更には付加価値の創出に向けて取り組んでまいりたいと思いますので、ご理解をよろしくお願い致します。

岡山委員 今後、秋吉台科学博物館に替わるような施設が出てきていますよね。中途半端なものはいけないし、より秋吉台の魅力的なものにするには、先ず皆さんが揃ってくるような大型の施設というようなものを考えていかないといけないかな。今後それに替わるものを県や国に。私も国会議員に財政措置が無いのかと聞いたのですが、なかなかいい返事が無い現状があります。今後しっかりとなんらかの形で、新市長の下で取り組んでいかなければならないと思うんですけども、その辺は何も無いですか。

事務局 秋吉台科学博物館の魅力化は重要なことだと思います。市議会におかれましても、世界ジオパークに向けての拠点施設の整備といったことが決議されたところでございます。市としましても今年度事業としまして、秋吉台科学博物館の魅力を再確認し、それを高めるために、山口大学との連携のもと取り組みをしますが、今後更に県や大学、あるいは国とも調整を図りながら、ジオパークの拠点施設、そして秋吉台・秋芳洞の交流拠点となるようなものを検討してまいりたいと考えております。

竹岡会長 博物館はいつになるかわからんけれども、世界ジオパークを目指さないんですよ、市長は。世界を目指してこそ日本一のジオパークになると思うんですが、どうしても切り替えの時に拠点施設が居ると思うんです。今回国が外国人観光客を誘致するための拠点施設を整備するところについては出しましょうと言っているわけですから、ジオの拠点施設を造り、博物館は博物館として違う位置付けをさせた方がいいんじゃないかと思うんですけども。とりあえず拠点施設はどうするのかは大事だ

と思うんですが。日本一を目指そうと、世界ジオパークを目指そうと、同じだろうと思うんですが、また議会の方も市長に質そうと思うんですが。台北の事務所とジオの拠点について質していこうとは思っています。

今日久し振りに集まって、いろいろ聞いて今からだと思うんですね、したがって今日いろいろな情報提供をしたという形にしておりますので、できるだけまた会議をもって決めていかないと、国は急いでいます。新しい年度になって3箇月間足踏みをしていましたので、ぜひ急いでやりたいと、よろしいでしょうか。

(全員異議なし)

事務局 ジオパークの拠点施設については、実は重要戦略を作る時にジオパークを挙げていなかったんです。それで委員の皆さん方からなんで挙げないんだ、美祢市の地方創生の柱はジオじゃないか、ジオパークをもって地域振興をして、仕事を作ったり、人を呼んだりするんじゃないか。この委員会で決められて、それを基に総合戦略ができています。拠点施設については避けて通れないものですので、この委員会で取りまとめたいただきまして施策の中に取り込んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

佐々木委員 S Lがそこに止まっていますよね。あれをうまく活用できないかなと思います。美祢駅の線路の所に置いてあれば、美祢線に乗ってくる人が勝手に見られるんですね。美祢線に乗る理由付けが必要だと思うんですね。駅のホームに置いてあれば、道の駅おふくでも、いずれにしる皆さんの目に留まりやすい場所にS Lみたいなものがあれば。これジオパークとも関連しているんですね。石炭の歴史と文化を象徴するものですから、旧美祢市のエリアの観光という意味で、皆さんの意識が追いついてないという現状がある。いくら美祢で観光、観光と言っても、旧美祢市域で意識を高めるためには、旧美祢市にお客さんが外から来てくれるような流れが無いと、どうしても意識だけを高めようとしても追いついて行かない。その中で一番いいのは、美祢線というコンテンツがありますが、こういったものを出すのとジオと石炭を象徴するもの、ぜひS Lなんか、皆さんの目に留まりやすい所に移して、観光的な側面、子供達の教育的な側面、あるいは美祢市の新しいシンボルになり得るかもしれない。秋吉台・秋芳洞は、長嶋、王みたいな存在ですよ。時代は変わってきていますので、新しくエースで4番みたいなものを作らなくてはいけないということになると、一つは弁天池かもしれませんが、S Lとか、今一度昔の素敵なシンボルになるようなものを、道の駅おふくまでS Lを移動したらいくらぐらい要るのかと見積もりを何社かとったことがあるんですが、ざっくりですが2千万円前後、もう少しかかるかもしれない。それは距離があるのと川を超えないといけないので

多少高くなるかもしれないということなんですけれども、それが高いのか安いのか私には判断できませんけれども、ゆくゆく長い目で美祢市というものを違った見せ方をさせていくということで、敢えて旧美祢市に来てくれる仕掛け作りを施策に盛り込んでいただけたら思いました。

竹岡会長 ポケットパークはまだあのまま置いておかないといけないのですか。

事務局 もう起債は終わっています。

竹岡会長 廃止して、今おっしゃったようにS Lを持って行って、駐車場にした方がええ。いいアイデア、ありがとうございました。

齊藤委員 昨年度は観光客が増えたということですが、増えて当たり前の年なんで、当然だと思います。昨年山口県でイベントが目白押しでした。3月から「花燃ゆ」に始まり、夏は「世界ジャンボリー」、10月には「ねんりんピック」と、全国からシニアの方が来られまして秋芳洞に莫大の数入られたと思うんです。今年に限ってはそれがありませんので、しっかりと継続して、観光の方取り組んでいただきたいなど。3月の段階なんですけれども、萩・長門・美祢とあるんですが、予約入りの状況で、萩の方は落ち込んでいると、しかしながら、長門、秋吉台地域は伸びていたというデータも出ていますので、活動自体が無駄ではないのではないかと、大河ドラマに頼っていたところと違って、我々が独自に動いたのがこの辺りで効いているのではないかというのもありますので、その辺りも踏まえて、そういうのが無くても運営がうまくいくのであれば私はどちらでもいいんですが、財政的に美祢市はどちらに向かっていくのかというのを、観光について一つでもあればそれにそこは力を入れていただければと思います。

内海委員 資料2の方に「3市をまたぐサイクリングコースを設定する」と書いてあるんですけれども、サイクリングコースだけを設定するのか、それとも、今大都市圏でも自転車専用道路というものができていると思うんですけれども、今秋吉台でサイクリングをする人は多いと思うんですよ。そういう自動車専用道路を整備していくということをぜひ検討していただけないかなと。J Cの「みねすろん」を開催すると狭いので、怖いというのがありまして、特にサイクリングコースから一般道に移る所に自転車専用道路みたいな形で作っていただければと思います。

事務局 ただ今、サイクリングを活用した地域振興については、山口県が熱心に取り組まれています。私共の市もプロジェクト・チームを作って一生懸命全庁的に取り組んでいます。もちろんその中には、イベントやコース設定だけでなくハード整備というものもあります。そうすると国や県のご協力が欠かせないところだと思いますが、そのためにも画をきっちり描いて要望していきたいと考えています。

中村委員 話をお聞きしておると、スーパーの土地を買うとか、拠点施設を建てるとか、非常に景気のいい話が多くて、今山口県はお金が無いんです。当初予算なんか、美祢市で言えば、水道局からお金を借りてという状況ですし、公共事業に至っては、10年前は1,700億円位だったものが今年700億円しか。ですからサイクリングロードを県にと言われても多分、無い袖は振れないと思うんですが。景気のいい話が多くて、いつも県の会議では「金無いな」ということなんですが、いつも優先順位とか、費用対効果、こんな話が先行して、寂しい話ばかりですが、なんと美祢市は景気がいいなど。

竹岡会長 景気がいいわけではないですが、議論して、画を描いて、何もしないのなら、もったいないということで言わせていただいて、先程説明があったように、国から補正が来たりして、予算をとらせていただきました。今度はせっかく国がハードにもと言っている訳ですから、風呂敷を広げながら、国の方にもお願いしていこうという趣旨でございます。ここで小さな話ばかりをしよると国に持って行かれませんので、そういうことでご理解いただければと思います。

中村委員 どれが交付金事業なのか、どれが美祢市の単独事業なのか、財源が無いので、すごいなど。例えば、会長さんが言われた今年の800億円の交付金事業に充てようと思ったら、トイレの改修とか水飲み場の改修とかはひょっとしたら交付金事業に持っていける可能性があるのかなというのも湧いてきませんし、次回に。

事務局 ただ今のご指摘、もう少し金額的な財源がわかるような資料を次回は作りたと思います。必ずしも現在当初予算で計上しております予算をどうこうするというだけでなく、もっと先を見て、美祢市を引っ張っていくためにはどういう事業が組み立てていかななくてはいけないのかなど、色々な考えを持っています。

(4) その他

竹岡会長 「その他」は次回開催のことですか。

事務局 次回開催につきましては、調整をさせていただきます。

竹岡会長 もう一回やっていただいて、今、丸和の件も議会が一生懸命勉強やっております、皆さんのお知恵を借りたいし、今日いきなり申し上げても「どうするの」ということになるだけですから、事務局の方で調整してみて、早い時期に開催してください。よろしゅうございますか。
(全員異議なし)

(5) 閉会

竹岡会長 これをもちまして本日の会議を終わりたいと思います。熱心に

ご意見をいただきまして、ありがとうございました。